

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	既成市街地用途地域見直し事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	01	02
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全	主管課長	中山 貢一				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山本町区域及び周辺区域の土地所有者等	意図	良好な住環境の形成により、満足度が向上する。 土地利用の実態に即した、適正な用途地域の指定をする。
事業内容	流山本町区域及び周辺の既成市街地における用途地域等の見直しを行い、地域の実態に即した土地利用の推進を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	既成市街地における都市計画変更にあたって、地区全体の将来的な整備方針等を作成することから、街なみ環境整備事業の導入も合わせて検討することとした。平成26年度から平成27年度へ全額繰越明許した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の割合	74.50	78.80	79.30	%
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						都市計画の見直しと合わせ、街なみ環境整備事業の導入を検討している。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				4,836,486			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				4,836,486			
人役・職員(人)				0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取り組みの課題	地域住民との合意形成。
②今年度(H26)に実施した取り組み	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	周辺環境整備（街なみ環境整備事業）と平行して検討していく。